

マタイによる福音書 16 章 13 節～20 節 「“私” にとってイエス様は？」

2 月 6 日は兵士献身サンデーです。救世軍兵士としての献身を確認し、新しい思いを持って、一年を過ごすことを決意する日です。

イエス様には、12 人の弟子がいました。色々な人がいました。出身地も、職業も、性格も色々です。でも共通するところがありました。それは、イエス様に従ったところです。本日の聖書の場面は、イエス様が弟子たちと共にフィリポ・カイサリア地方に行かれた時のことです。

イエス様は弟子たちに「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになりました。弟子たちの答えを受けて、イエス様は、さらに一歩踏み込んで、弟子たち自身に「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」と問われました。これは、弟子たちだけでなく、私たちに对するとても重要な質問です。イエス様の目的は、私たちがイエス様への信仰告白に導くことなのです。

ペトロは、マタイによる福音書 4 章で、イエス様に「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われ、イエス様と共に歩む生活がスタートしました。そして、本日の聖書箇所でも、ペトロは「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えました。ペトロは、「イエス様あなたこそ、神の民が待ち続けていた救い主、しかも死んだ偶像ではなく生きておられる神の御子です」と告白したのです。

私たちも今、ペトロと同じ信仰告白をするのです。イエス様は「あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」と問われました。ペトロを始め、弟子たちがイエス様から問われたように、私たち一人ひとりがそれに答えたという時がありました。あるいは、これからそのように答える時をイエス様が待っておられる、そのような方もあるでしょう。

私が初めて信仰告白をした時、つまり回心の祈りをしたのは突然のことでした。私は、救世軍の施設に就職し、イエス様の話を聴く機会は与えられ、良い話を聴いているなどは思いましたが、目に見えない神様を信じるということがよくわかりませんでした。就職して 3 年目、救世軍の全国青年デーに参加した時のことです。一緒に過ごしていた人たちに、信仰について尋ねたりしましたが、どう考えても自分が信仰を持てるとは思えませんでした。ところが、最終日の礼拝で、初めてイエス様を近くに感じて、受け入れることができました。それまで、色々な困難があり、自分の力で乗り越えてきたと思っていましたが、私がクリスチャンではなかった時も、神様はずっと私の人生に関わって、助けてくださっていたのだと知り、悔い改めの祈りをし、信じる者へと変えられました。このことは、私の身に起きたことではありますが、私の努力や思考の変化によって信じられるようになったということではありません。全ては神様の働きによることなのです。神様は私が応答するその時を忍耐強く待ち、応答することができるようにと働きかけてくださっていたのです。

ペトロの信仰告白の後、17 節でイエス様は、「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。」と言われました。ペトロがイエス様を救い主、神の子と告白することができたことが幸いなことであり、さ

らに、その告白ができたのは、天の父である神様の力と業によるということです。だから、私たちは神様の導きを信じて、福音を伝えていくことができるのです。神様が、信仰を言い表すことができる時を備えてくださいます。そして、私たち自身も信仰告白を続けていく者でありたいと願います。信仰告白とは、イエス様あなたを信じます、あなたにお従いします、あなたを第一として歩んでいきます、そのことを言い表すことです。ですから、過去のものではなく、日々続けていくものです。さらに、これは、自分自身から出る決意表明ではなく、神様の業によってなしていただくということです。

13 節に「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とあります。「人の子」というのはイエス様をあらわす称号、肩書きのことです。他にも、「キリスト」「救い主」「大祭司」「世の光」等、聖書には色々な称号が記されています。イエス様は弟子たちに「あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」と問われました。私たち一人ひとりにとって、イエス様とはどのようなお方、どのような存在でしょうか。今の私にとって、イエス様は、「良い羊飼い」です。なぜなら、羊のような生き方をしている私を、イエス様が常に愛をもって導いてくださっていて、また、その導きなしには生きられないと感じているからです。迷子になっていることにも気づかず、好きな所にいた私を、イエス様はすでに知っておられ、呼び続けてくださったので、私はイエス様のもとに集まることができました。良い羊飼いであるイエス様に導かれて今まで生きてくることができました。

今でも私が、日々の生活の中で迷子になったり、霊性が弱ったりする時に、イエス様は、聖書や賛美、周りの人や出来事を通して慰めや励ましの言葉をかけてそばにいてくださり、正しい道へと導いてくださいます。良い羊飼いであるイエス様は、羊のような弱い私のために、「命を捨てる」とまで言うてくださることに感謝しています。日々、良い羊飼いである主の声を聞き、それに従う者でありたいと思います。

イエス様は「あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」と問われ、ペトロは「あなたはメシア、生ける神の子です」と告白しました。私たちもペトロのように、日々の生活のどこでも、この告白をしているでしょうか。イエス様との交わりの生活の中で、よりイエス様のことを知り、よりイエス様との関係が強く深くされていきます。イエス様は私たちを養い、導いてくださいます。イエス様に従い、共に歩むことを第一に選び取り、恵みの道を歩んでまいりましょう。